



サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 利用パンフレットや毎月のおたよりを発行し、近隣に配布、施設案内や毎月の活動を周知するとともに、ホームページをリニューアルしタイムリーな利用案内や活動の周知を行った。また、アプリを広報に効果的に活用することで、来館者の増加につなげた。特別な配慮を必要とする児童への対応のため、巡回相談員が児童への対応手法について、指導を行うとともに、こども文化センターでは館長に、社会福祉主任任用資格者・知的障害者福祉司任用資格者を配置し、要支援児童とその保護者に対して、細やかな支援を行った。また、小学校・中学校・地域療育センターと児童の情報を共有し、施設ごとの対応にギャップが出ないように配慮を行った。利用者ニーズの把握については、小学生から高校生においては、月1回程度「こども会議」を開催し、意見を直接聴ける環境を整えるとともに、こども文化センター運営協議会を通じて地域の町内会・PTAからのニーズを把握した。岡上こども文化センターでは、地域の「おかがみふれあいまつり」の事務局として、PTA・民生委員児童委員・青少年指導員・町内会・こども会・保育園・各利用団体等、地域活動の主たるメンバーと協力して、事業を展開した。また、近隣の和光大学と連携して、環境保全活動の一環として、小学生を対象とした「かわ遊び」を企画・実施した。片平こども文化センターでは、「かたひらこぶん夏まつり」で乳幼児親子、小学生から高校生、運営協議会や手伝いの地域住民など、祭りの実施を通じて、多世代の地域交流を行うことができた。また、麻生区地域コミュニティ活動支援事業により、市民活動団体「ひととゆめのネットワーク」による科学実験教室を実施した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例第54条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配しており、円滑な事業運営が行われた。また、知的障害者福祉司任用資格者や元校長の巡回相談員などを配置し、高い専門性を伴った児童対応を行うとともに、市主催の研修や法人主催の研修など、職員のスキルアップに必要な研修に参加し、職員の資質向上を図った。個人情報保護マニュアルと管理体制の整備など、個人情報の取扱を適正に行った。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか			
	利用者の安全確保	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか	5	3	3
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
		施設の防犯のための工夫をしているか			
防犯対策及び災害時の対応	災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか	5	4	4	
	災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか				
<p>(評価の理由) 施設の保守点検等・備品管理が適切に実施されており、また、日常的な安全点検の実施や救命講習の受講など、安全・衛生管理に適切に取り組んだ。災害発生時に備え避難訓練を実施するとともに、全職員を対象に「児童館における安全対策ハンドブック」を配付し、この冊子を基に職員同士で安全懸念情報の共有や不審者対策の対応を行った。また、「こども会議」を通して事故や怪我について話し合いを行い、子どもの意識を高めた。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

施設や事業の周知に工夫しながら積極的な広報活動を行っていた。事業実施にあたっては、運営協議会を中心とした地域との連携とともに、近隣の大学と連携した事業展開など、地域の特性を活かした工夫が見受けられた。また、防犯対策等にあたっては、全職員の意識の徹底が図られていた。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。